

尾崎大介都議の政策と活動を紹介します!

東京都議会議員 現職2期 北多摩3区(調布市・狛江市)

# 尾崎 大介

おざき だい すけ

[www.ozakidaisuke.com](http://www.ozakidaisuke.com) 

39  
才

街頭の誓いを都議会へ!!

## PROFILE

### [経歴]

1974年 2月 15日東京都生まれ、A型、日本大学農獸医学部卒業  
サラリーマンとして民間企業勤務後、  
24才で政治の世界に飛び込む

2000年 6月 第42回衆議院総選挙に限り、公設第一秘書となる

2005年 7月 東京都議会議員初当選

2006年11月 都議会史上、最年少で財政委員会副委員長に就任

2009年 7月 東京都議会議員選挙2期目の当選

2009年 9月 都議会史上、最年少で都市整備委員会委員長に就任

現 在 警察・消防委員会副委員長  
住宅供給公社評議委員  
東京都国土利用審議会委員

[資 格] 測量士、宅地建物取引主任者

[特 技] 剣道(初段)、スキー、水泳

[座右の銘] おもしろき事もなき世をおもしろくすみなすものは  
心なりけり(高杉晋作の辞世の句)

[家族構成] 妻・6才長女・1才長男と調布市上石原在住



### [都議会での役歴]

財政委員会副委員長  
都市整備委員会委員長  
環境・建設委員会 理事  
警察・消防委員会副委員長

### [その他]

調布市商工会顧問  
狛江市商工会顧問  
NPO法人狛江市体育協会顧問  
NPO法人工コクラブ参与  
NPO法人工コクラブ DAIGOどんぐり銀行調布支店長  
北多摩南部地域保健医療協議会 特別委員  
調布青年会議所 正会員  
東京都議会オリンピック招致推進議員連盟 委員  
東京都議会花粉症対策推進議員連盟 委員

## 「頑張っている人を応援する政治」

私、尾崎大介は2期8年間、在野の精神で現場主義を貫き、地元・北多摩3区(調布市・狛江市)を歩き続けてきました。

都政全般にわたる課題から地域の課題まで、実現できたもの、実現できなかつたものが多数あります。

東京は日本の首都であると同時に、国際都市としての玄関口、またオリンピック招致や道路整備のインフラといった

華やかな一面をもちながらも、少子高齢化という社会の中で、待機児童の数は増え続け、

高齢者は老人ホームに入ることができない、児童虐待のニュースは後を絶たず、

中小・零細企業の倒産件数も減る気配がない。

私はそうした華やかなA面と光のあたらないB面が混在する東京都いう自治体を、

議会の立場から変えていくためにこれからも仕事をしていく決意です。

意味のない政党対立や権力闘争に明け暮れる時代は終わりました。

議員は片手間にする仕事でもなければ、名誉職でもありません。

私達の世代が責任をもって地域、そして東京の将来を考えてまいります。

東京都議会議員

尾崎大介